



彩の国福祉教育・ボランティア学習推進員ネットワーク あつたかウェルねっとニュース 第29号

2018年3月30日発行

ホームページアドレス <http://www.geocities.jp/attaka17/>

2011年3月11日の東日本大震災より7年が経ちました。失われた多くの尊い命のご冥福を祈り続けるとともに、一日も早い被災地の復興・復旧を願い、被災された皆様の安心安全を心よりお祈り申し上げます。

あつたかウェルねっとの「ウェル(WELL)」は、Welfare(福祉)、Well-Being(幸福)のWell(大切にという意味)で、「温かな心で一人ひとりを大切に思うつながり」でありたい、との願いが込められています。

共に生きる力を育む福祉教育実践を 県内に広げよう！

平成29年度は、ねっと主催の研修会を行なう等、新たな取り組みの年度となりました。また、若者への福祉教育研究会との連携も2年目となり、若者福祉やサービスラーニングの視点で学びを深めたところでもあります。

新年度は、あつたかウェルねっと&若者への福祉教育研究会が重なるところが、さらに進展発展する年になることでしょう。常日頃ご助言をいただいているアドバイザーの先生方に感謝しつつ、平成30年度もよろしくお願ひいたします。

下記のとおり5月13日(日)に総会・研修会を行ないます。是非、ご参加ください。

総会
研修会

お知らせ

平成30年度 ねっと総会

開催日: 平成30年5月13日(日)受付: 9時15分から
開始: 9時30分 議事終了: 10時20分(予定)
会場: 彩の国すこやかプラザ2階セミナーホール
(JR京浜東北線与野駅 西口 徒歩10分)

対象: 正会員・賛助会員及び会員を希望する方

年会費: 正会員 1,000円

賛助会員 1口: 500円

事前の申込み
をお願いします

平成30年度 ねっと研修会 ～これからの福祉と教育～

日時: 平成30年5月13日(日)

時間: 10時45分～15時45分(受付10時30分～)

会場: 彩の国すこやかプラザ2階セミナーホール

講師: 原田正樹氏(日本福祉大学学長補佐・教授)

河村美穂氏(埼玉大学・教授)

対象: 福祉教育を実践している人・関心がある人

参加費: 一人 2000円 学生 無料

※各自で昼食をご用意ください。すこやかプラザ

周辺には飲食店があまりありません。

内容

(1) 「福祉教育実践プログラムの創出と普及」

コーディネーター: 河村美穂氏(埼玉大学・教授)

あつたかウェルねっと事例報告

・発達障害への理解(櫻井栄里・東松山市)

・認知症理解(木村房枝・川越市)ほか

若者への福祉教育研究会にて、ねっと会員がと

りこんでいる様々なプロジェクトより事例報告

～昼食タイム～交流・情報交換

ポスターセッション～プログラム創出の今！～

各プロジェクトからの報告書を展示します。

(2) 講演「これからの福祉と教育」

～相互実現的自立をめざす福祉教育～

講師: 原田正樹氏(日本福祉大学・教授)

(3) グループワーク

「私と地域の関わり＆私たちの役割」

(4) 対談「今、埼玉でめざす福祉教育」

原田正樹氏、河村美穂氏、横田八枝子ねっと代表、牧野郁子若者への福祉教育研究会事務局長

(5) まとめ「これからに向けて」

コメント：原田正樹氏

研修会は、どなたでも参加できます。

お誘い合わせのうえ奮ってご参加ください。

申込先：ねっと事務局 須田 049-283-1865 (FAX)

メールアドレス masako@niconico39.net

報告 主催事業

**第2弾！ねっと主催研修会
障害当事者等 福祉教育実践者の
スキルアップ研修 Part 2**

平成30年1月28日（日）10時～15時30分、ウェスター川越研修室にて、ねっと主催のスキルアップ研修 part2を行ないました。

佐藤 陽氏（十文字学園女子大学・教授）より、講義「福祉教育概論Ⅱ・これからの福祉教育実践に必要な視点と方策」では、『社会福祉の理解と関心を深め共に手を携えて生きていく力、福祉課題を解決していく為の実践する力をつける、人間としての成長を図る』等、分かり易くお話をいただきました。

後半は、前回（昨年8月）に続いて、鈴木信行氏（患医ねっと代表、日本二分脊椎症協会元会長）より、福祉教育実践者としての企画・実践での留意点や振り返りの大切さなどを確認しながら、シート1～3を使って、演習「自分の企画書」作りに挑戦しました。

**報告 冬カフェ****まなびばしゃべりば冬カフェ**

みんなで企画書づくり！

～スキルアップ研修part2での企画書より～

ねっと主催スキルアップ研修 Part 2 (1/28) で各自が作成した企画書（事例）の中から班推薦企画の1つを取り上げました。

平成30年3月20日（火）14時～16時、坂戸市文化施設オルモにて、新井裕子氏（吉見町福祉教育推進員）より、企画書メッセージ「結婚しませんか？」の背景「少子化問題」から話題提供していただき、参加者全員で円卓会議風に意見を出し合いました。

今後も企画作りを継続的に行ない、福祉教育実践に結び付けていきます。

乞うご期待！



- ☆企画書より
- ・「結婚」に対する考え方の時代ごとの変遷
- ・どんな人生を送りたいか
- ・親の立場/子の立場
- ・出産/子育て 等々

報告**With you さいたまフェスティバル**

**With you さいたまフェスティバルに参加
展示ブースで交流しました。**

埼玉県男女共同参画推進センター（愛称：With You さいたま）主催の「第16回 With You さいたまフェスティバル」が2月2～4日の3日間行なわれ、展示ブースに訪れた方々と交流しました。県内で男女共同参画の視点で活動している51団体が参加。女性の活躍、福祉、環境等々の活動に触れる機会となりました。「共に生きる」を掲げている団体もあり関心が深まりました。また、会員同士の交流・情報交換の場にもなりました。

ご協力いただいた会員のみなさま、ありがとうございました。

春カフェ

お知らせ

まなびばしゃべりば春カフェ みんなで企画書づくり！第2ステージ ～スキルアップ研修part2での企画書より～

冬カフェの続きをしましょう。企画書・チラシ案などを検討します。みんなで意見を出し合うことが大切！どうぞご参加ください。

☆冬カフェ「みんなで企画書づくり」からの提案☆

- ・いろいろな人の生き方や若い人の声を聞こう
- ・自分の人生設計は？（みんな幸せになりたい）
- ・「あなたの結婚したい」を応援したい
- ・あなたは誰と暮らしたい？
- ・人と暮らす意味を考えよう

企画リーダー：新井裕子さん（吉見町福祉教育推進員）

日時：平成30年4月23日（月）

14時00分～16時00分

会場：坂戸市文化施設オルモ2階ギャラリー3

（東武東上線 北坂戸駅 東口下車）

参加費：200円（茶菓子代を含む）

*学生には補助あり

対象：福祉教育推進に関心のある方

若福研究会コーナー

平成28年8月10日に設立した「若者への福祉教育研究会（以下、若福研）」の活動も大きく広がっています。当初、会員数が24名であったものが、平成3月25日現在、85名程度となっています。また、プロジェクトも以下のとおり、10のプロジェクトができ（うち2つはこれから実施予定）、22の福祉教育実践プログラムが形になりつつあります。

今後の予定としては、5月13日のあつたかウェルねっと研修時に、可能なプログラムを掲示させていただきます。アドバイザーや参加者それぞれの皆さんからアドバイスをいただき、さらにプラスアップを図り、8月に完成の報告書作成を目

指します。

…♡…

報告書（8月発行予定）内容

- (1) 高校での実践プロジェクト
- (2) 大学での実践プロジェクト
 - ①サービスラーニング②ボランティア活動I・II
- (3) 地域でのワークキャンプ実践プロジェクトI・II
- (4) あつたかウェルねっと実践プロジェクト
 - ①発達障害の理解 ②高齢者理解 ③視覚障害理解
 - ④認知症理解 ⑤地域関係性 など
- (5) 地域での精神保健
 - 分野実践プロジェクト
 - ①精神障害者フットサル実践 ②精神障害当事者発信
- (6) 受入施設プロジェクト
 - ①チャレンジ体験 ②小学生の福祉教育受入
 - ③介護等体験 ④実習生受入
- (7) 教育委員会との協働実践研究プロジェクト
- (8) 調査研究プロジェクト
- (9) 当事者発信



3/25 開催：若福学習会「精神障がいのある方のことをどう伝え共生するのか」
若者からの発言もありました。

- (10) 寄付教育プロジェクト
- (11) 番外編 若者主体の取組
 - ①おいでませ福祉。②若者が伝える福祉教育

*プログラムは、定型A4版で3枚（様式あり）に記入。

さらに思いがある方は「厚い思い」として記述していただく予定。

…♡…

今年の8月で、当初の期限付き研究の2年となり、いったん活動の方向性を見極める時期になっています。若福研の活動が広がることで、これまで実践者それぞれが自分たちの思いや流れだけで行われていた「福祉教育プログラム」を、サービスラーニングの視点から自分たちの活動を整理し、そのノウハウを見る化し、さらに、今後、報告書によって全国に発信する方向で展開しています。

さらに今後は、見える化されたプログラムをそれぞれ実際に実践することが必要であると考えて

現在の内容です。
今後変更もあり。

います。

それぞれのお申込み先

あつたかウェルねっと事務局（須田正子）
FAX 049-283-1865 メール masako@niconico39.net

県社協からの情報

今年度、県社協では福祉教育の取組として主に下記の事業を実施し、皆様に地域活動の取組への理解を図りました。

○生活支援センター養成事業

隣近所の“さりげない気遣い”“ちょっとした目配り”など地域に关心を向けていただく応援者を5, 129名（2月末日現在）養成しました。

○共生・共助つながりづくりフォーラム

「地域のつながりづくり」を考える機会として、また「広がれ、こども食堂の輪！全国ツアーin埼玉」として開催。神奈川県立大学の山崎美貴子名誉教授の講演や実践報告を行いました。

○福祉教育推進者研修

常磐大学の池田幸也教授の講義や実践発表により、様々な福祉教育の取組を学びました。

その他にも、「小中学生作文コンクール」やボランティア活動に关心のある高校生対象の「ヤングボランティア交流会」などを実施しました。

県社協では、平成30年度も地域共生社会の推進に向けた取組を実施していく予定です。推進員の皆様にも、学校や地域における福祉教育の推進に御支援・御協力いただきますようよろしくお願ひいたします。

★県社協 Facebook 「シャキたまくん通信」
<https://www.facebook.com/fukushisaitama.syakitamatamakun>

事務局情報

若者への福祉教育研究会の情報も

平成28年度発足した若者への福祉教育研究会と

協働しながら「若者への福祉」を研究しています。詳細はホームページをご覧ください。

・若者への福祉教育研究会HP

<http://wakafukuken.wixsite.com/saitama>

・フェイスブックのグループページ

<https://www.facebook.com/wakafukuken>

報告会や研究会が順次行なわれています。関心のある方はどうぞご参加ください。

メーリングリストで情報を

「あつたかウェルねっとML」「若者への福祉教育研究会ML」と、二つのメーリングリストが動いています。会員・賛助会員の方でメールアドレス(携帯も可)をお持ちの場合、メーリングリストの登録ができます。希望する方は事務局までお知らせください。

ねっと事務局 須田 049-283-1865(FAX)

メールアドレス : masako@niconico39.net

会費振込先のお知らせ

活動は、ねっと会費(年1000円)で運営しています。みなさまのご協力をよろしくお願いします。

振込先：埼玉りそな銀行武藏浦和支店・

普通預金口座番号：5015782

名義：彩の国福祉教育ボランティア学習推進員ネットワーク

編集後記

厳しい寒さが続いた今年の冬。ようやく春が近づいたと思ったら、春彼岸に雪が！その後には夏を思わせる気温上昇で、桜も一気に満開となりました。年度末の忙しさの中、お花見のタイミングが難しいけど、遠出せずとも桜の名所は地元にも多いもの。身近な地域をこまめに巡れば、元気をたくさんもらえそう。さあ、新年度へGO！

発行：彩の国福祉教育・ボランティア学習推進員ネットワーク(通称：あつたかウェルねっと)

編集：あつたかウェルねっと(情報担当)

連絡先：埼玉県社会福祉協議会地域活動支援課

TEL : 048-822-1435

FAX : 048-822-3078

Mail : vc@fukushi-saitama.or.jp